

くずまき 議会だより



町民に身近な議会を目指して
議会総合条例を改正

2p

災害予防の取り組みは ~4議員が一般質問~

4p

グループ討議で議員の役割を研修 ~三町研修会~

10p

町議会の活動を全国発信 ~全国町村議長会職員研修~

11p

笑顔のつどい²⁴



表紙

「なないろ☆きらきら」の
皆さん
(関連12P)

町民に身近な

議会を目指して

議会総合条例を改正

12月定例会議

12月定例会議は、12月2日から7日までの6日間の日程で行われました。

町長から提出された議案は、28年度一般会計と特別会計の補正予算など13件、議員が提案した議会総合条例の改正1件が、全て全議員の賛成で原案どおり『決定』しました。

また、5日に行われた一般質問では4名の議員が登壇し、町の対応や考えをただしました。

専決処分の指定 5項目を追加

議会は26年1月に議会総合条例を施行後、ふるさと懇談会や子ども議会の開催など、町民により身近な議会を目指して取り組んでいます。

一方で、28年1月から新任期の議会が始まり、議会活動や議員の在り方の見直しが必要との考えから、研修会の開催や他議会の一般質問の見学など、さらなる議会改革に取り組みました。

このほか、議会総合条例の見直しを行い、議会運営の効率化、執行機関の事務の迅速化をさらに進めるために、条例を改正しました。

- ① 災害などにより、応急的に必要な維持補修、工事に要する歳入歳出予算の補正
- ② 衆議院等の解散や欠員などによる、選挙費の歳入歳出予算の補正
- ③ 会計年度末に、地方税法などの改正によって必要となる条例改正
- ④ 条例の規定の趣旨を変更しない範囲の、字句の修正を行う条例改正
- ⑤ 一部事務組合、広域連合の規約の変更や構成団体の増減の協議

主な改正は、議会があらかじめ認める**専決処分**（※）に、次の5項目を追加しました。



建設中の江刈小学校校舎を見学する児童。議会では、25年9月に提出された江刈小学校改築の要望書を審査した結果、改築は妥当と認めています。

災害発生時の 対応指針を作成

そのほか、委員会の公聴会・参考人の規定を新たに定め、また、議場に入る際に「つえ」を持ち込みできるようにしました。

今後も、議会の活性化を進め、多くの町民の皆さんの声を聴いて、町政に反映させるように取り組んでいきます。

昨年8月に東北に初上陸した台風10号など、近年発生している自然災害の猛威と教訓を踏まえて、災害発生時の議会と議員の対応を決めた指針と行動マニュアルを作成しました。

（※）専決処分
議会が議決すべき事項を、町長が代わって意思決定すること。緊急を要するため議事を開くことができない場合や、あらかじめ議決で指定した項目は専決処分ですが、議会に報告が必ずです。

指針では、町が災害対応に専念できるように必要な支援や協力をするこ、国や県の関係機関に対し、必要に応じて要望活動を行うことを定めました。



台風10号による被害箇所を確認する議員（上外川地区）

行動マニュアルでは、災害の規模に応じて「議会災害対策会議」を設置すること、災害発生時に町民の安全確保のため地域活動に積極的に従事しながら、災害箇所などの情報収集を行うことになりました。

町民の皆さんの安全を守り、安心して住みやすい地域づくりに向けて、議員が団結して取り組んでいきます。

議員の年金加入 要望を継続審査

全国町村議会議長会から、地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書提出の要望がありました。

地方議会議員の年金制度を時代にふさわしい内容にすることで、議員を目指す新たな人材確保につなげる考えから、議員の厚生年金制度加入のための法整備の実現に向けた要望です。

12月6日、この要望の取り扱いを輝くふるさと常任委員会で審査した結果、「5年前に議員年金を廃止した経過などを踏まえ、町民の声を聴きながら議会の結論を出すべき」などの意見があり、さらに審査を継続することに決定しました。



しばた いさお 柴田 勇雄 議員

問 国体後のまちづくり施策は

答 スポーツ大会など積極的に誘致

議員 希望郷いわて国体を終えての町長所見と、国体遺産を今後のまちづくり施策にどのように反映させる考えか伺います。

町長 本町では、正式種目の軟式野球競技とデモスポーツのネオホッケーが開催され、町国体実行委員会を中心に各専門部会や競技団体、町民が丸となり大会運営を進めました。

軟式野球は、10月2日から3日間試合が行われ、監督・選手、競技役員や観客など約2千600人が訪れ、スムーズな競技運営や葛巻らしい「おもてなし」で関係者から高い評価をいただきました。多くのチーム関係者の、町内宿泊施設の利用と、会場内では、郷土食のおもてなしの振る舞いや特産品販売を行いました。

国体終了後のまちづくり

保育園児によるバイオリン演奏や児童生徒による趣向を凝らした応援などが大変好評で、町をPRする絶好の機会となりました。

全国屈指のハイレベルな競技を観戦できたことは、子供たちにとって貴重な体験となりました。整備されたスポーツ施設を最大限に生かし、各種スポーツ大会やイベント、合宿などを積極的に誘致し、町の多面的な資源の、「自然、観光、物産、人」とスポーツを融合した「スポーツ・ツーリズム」を推進します。



保育園児らによるバイオリン演奏で国体会場を盛り上げました

役場庁舎などの改築

議員 町役場庁舎（総合センター含む）の老朽化が進行していると思われ、改築の見直しは、

建設に向けて基本構想作成

町長 役場庁舎は、完成から40年を経過し、経年劣化と設備の老朽化がかなり進んでいます。ポイラー蒸気の配管漏れ、雨漏り、床タイルや壁紙の剥がれが多く、箇所に見られます。

災害対応の主要施設から、改築の必要性は十分認識しており、今年度、改築に向けた計画の基礎調査を実施します。この調査では、役場庁舎、総合センターの複合化と消防署葛巻分署の同一敷地内の集約化を検討します。

基礎調査結果を基に、来年度、庁舎内に建設検討委員会を設置し、庁舎建設に向けた基本構想を取りまとめます。財政状況などを十分に見極めて、順次建設に向けた作業に着手する予定です。

～ 今ここが聞きたい ～

12月5日に、4議員が一般質問を行いました。一般質問は、町の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来の方針などを幅広い視点から報告や説明を求め質問します。議員の質問できる時間は、1時間以内です。議事録の内容は、町のホームページと議会事務局で閲覧ができます。



やまざき くにひろ 山崎 邦廣 議員

問 災害予防の取り組みは

答 防災や観測体制を強化

議員 住民自ら予防的に避難する訓練が重要と考えますが、町の考えを伺います。

町長 28年8月30日に襲来した大型で非常に強い台風10号は、気象庁が統計を取り始めて以来、初めて東北地方の太平洋側に直接上陸しました。

町では、台風が上陸する前日の29日から「くずまきテレビ」で注意喚起を行い、翌30日には避難準備情報を発令し、避難行動要支援者などへ避難行動の開始を促しました。

今後とも予想できない時期や規模の自然災害の発生が心配されるため、防災意識の高揚と備えが重要であると考えます。

防災では、「自らの身の安全は、自ら守る」ところが基本原則となっており、地域ぐるみの自主防災組織などを中心に、日

自主避難訓練の取組み

ごろから自主的に災害などに備えた行動がとれる準備が必要と考えます。

また、行政が行う防災活動と連携・協力しながら被害を未然に防止し、あるいは最小限にとどめるため、相互に協力していく必要もあります。

このため、町が実施する総合防災訓練などに、これまで以上に自発的に参加できる機会の拡充と、避難行動要支援者などを含めた避難行動訓練の取り組みなどを検討します。

避難勧告等の判断基準

議員 昼夜を問わず発生する災害に迅速に判断する仕組みが重要と考えますが、町の考えは。

町長 町の避難勧告などの判断基準は、気象警報の発令状況のほか、「前日までの連続雨量」「当日の雨量と時間雨量」「河



五日市小学校の児童が参加した総合防災訓練。日ごろからの訓練実施が大切です。

川の水位」などの数値情報や超過する恐れがある場合に、避難行動に関する情報を発令します。

避難勧告発令後、土砂災害などの前兆現象の「湧き水」「斜面の亀裂や崩壊」「河川水位上昇」などが確認されれば、その後の気象予報などと合わせて総合的に判断し、発令内容を引き上げます。

この基準は、26年10月に「葛巻町避難勧告等の発令基準」として作成したもので、今後、国のガイドライン見直しなどに合わせて整備を進めます。

一方で、雨量の1時間ごとの24時間予測が可能な設備は、町中心部に気象観測所（アメダス）のみです。

広大な面積の本町では、地域ごとに気象状況や雨量が異なり、災害予防、避難勧告などの判断を充実させていく上で、気象観測体制の整備や充実が重要と考えます。

今後関係機関と連携し、防災や観測体制の強化を図るとともに、住民の防災知識の普及啓発に努め、安全で安心に暮らせる災害に強いまちづくりを推進します。

簡易水道施設等を統合

水道サービスの安定へ



安全安心な町水道でしっかりと手洗いする葛巻保育園児。水道事業の経営基盤の強化で、水道の供給サービスの安定確保が期待されます。

12月定例会議で、28年度補正予算、町水道事業の設置等に関する新しい条例や議会総合条例の改正などの審議が行われました。
主な内容は次のとおりです。

補正予算

一般会計に8億9004万円追加し、総額を87億5650万円としました。支出では、台風10号の被害による災害復旧関

会計名	補正額	補正後の予算額	
一般会計	8億9004万円	87億5650万円	
特別会計	国民健康保険事業	△185万円	12億8203万円
	農業集落排水事業	1644万円	2億1354万円
	病院事業(収益的収支)	△149万円	9億4680円

《主な予算の使いみち》

- 台風10号被害による災害復旧関連経費 …… 8億2515万円
 - 情報通信基盤施設の維持修繕経費 …… 1413万円
 - 地域おこし協力隊(※) 募集採用支援業務 …… 200万円
- (※) 地域おこし協力隊：人口減少などに悩む地方が都市住民を受入れて、農林業の応援や住民の生活支援などの地域協力活動に従事し、その地域への定住定着を図りながら、地域の充実強化を目指す取り組み

条例

町水道事業の設置等に関する条例
29年4月から簡易水道施設と飲料水供給施設を統合して新たに水道事業を設置し、地方公営企業法の適用による事業を開始します。

議会総合条例の改正
専決処分指定に、新たに5項目を追加。(関連記事2ページ)

定住促進住宅条例の改正
小田地区に、家族向け2部屋、単身向け4部屋の住宅を1棟整備。3月中旬から入居開始の予定です。

職員給与と条例等の改正
国に準じて、一般職の給料月額を平均0.2%引き上げ。

一般職の勤勉手当と、議会議員、常勤特別職の期末手当を、それぞれ0.1月分引き上げました。

財産取得

葛葉荘改築による備品

【電動ベッド】

- ◆品名 電動介護ベッド50台(付属品含む)
- ◆契約額 623万円
- ◆納期 29年3月21日
- ◆契約相手 (株)ケア・テック(盛岡市)
- ◆品名 IHコンロなど49品目
- ◆契約額 1274万円
- ◆納期 29年3月21日
- ◆契約相手 タニコー(株)(盛岡市)

人事案件

人権擁護委員

長岡功さん(田子)を推薦(再任)することに同意。任期は32年3月31日まで。

【主な質疑】

地域おこし支援協力隊の役割は
総務企画

問 地域おこし協力隊に期待する役割は。

答 山村留学制度の魅力向上、特産品を活用した新商品開発の指導をコーディネートするなど、人口減少対策の取り組みを支援する役割を担います。

水道施設を統合水道料金改定は
建設水道

問 水道施設の統合と企業会計への移行による水道料金改定の見込みは。

答 基金の積み立て状況や収支見込みなどを総合的に判断し、当分の間は料金改定を行わない考えです。

議員の判断(議決結果)



○議員の判断で決定した議案(賛否が分かれた議案はありませんでした。)

議案等番号	議員名 件名と主な内容	議決結果	議員名											
			畑福弘	山崎邦廣	太平守	柴田勇雄	鈴木満	姉帯春治	山岸はる美	辰柳敬一	高宮一明	中崎和久		
議案36号	28年度葛巻町一般会計補正予算(第4号) ……8億9004万円を追加して予算額87億5650万円に	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案37号	28年度葛巻町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第2号) ……185万円を減額して予算額12億8203万円に	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案38号	28年度葛巻町簡易水道事業特別会計補正予算(第2号) ……36万円を予備費から職員給与費に組み替え	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案39号	28年度葛巻町農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号) ……1644万円を追加して予算額2億1354万円に	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案40号	28年度葛巻町国民健康保険病院事業会計補正予算(第1号) ……149万円を減額して収益的収支の予算額を9億4680万円に	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案41号	一般職の職員の給与に関する条例等の改正 ……一般職の給料月額、議会議員と常勤特別職の期末手当の引き上げなど	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案42号	町税条例の改正 ……外国居住者における特例適用利子などの額に係る所得を分離課税する改正など	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案43号	町定住促進住宅条例の改正 ……小田地区に新たに定住促進住宅を整備	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案44号	町水道事業の設置等に関する条例 ……29年4月から簡易水道施設等を統合して新たに水道事業を設置し、地方公営企業法の適用による事業を開始	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案45号	町水道給水条例 ……新たに設置する水道事業の運用に関する規定を整備	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案46号	財産の取得の議決 ……葛葉荘改築による電動ベッドの購入 契約相手:(株)ケア・テック【盛岡市】 契約金額:623万円	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案47号	財産の取得の議決 ……葛葉荘改築による厨房設備機器の購入 契約相手:タニコー(株)【盛岡市】 契約金額:1274万円	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案48号	人権擁護委員の候補者の推薦 ……長岡功さん(田子)を推薦(再任)することに同意	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
発委1号	議会総合条例の改正 ……専決処分の指定を新たに5項目追加や、常任委員会の委員定数の改正など	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
要望1号	地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書 ……地方議会議員の厚生年金制度加入を求める意見書提出の要望	継続審査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

※ ○は原案に賛成。
※ 議長は採決に加わりません。

町議会の活動を全国発信

全国職員研修会



中崎議長が講演

28年度全国町村議会事務局職員研修会が11月28日東京都で開催され、中崎和久議長が「葛巻町議会の取り組み」と題して講演を行いました。

研修会には全国から約200人の議会事務局職員が参加。中崎議長は、葛巻町議会総合条例制定の背景や目的、条例施行後の議会活動などスライドを用いて説明しました。

中でも新たな取り組みである、本会議での参考人招致やふるさと懇談会について力を込めて話しました。

最後は「少子高齢社会の中で、小さくてもきらりと光るまちづくりのために、多くの町民の参加をいただき町民と協創することを目指します」と意気込みを述べ参加者から盛んな拍手が送られました。

議会では、地域の振興発展や特定の課題を解決するため、近隣の市町村議会と連携した勉強会の開催や、各種研修会などに積極的に参加しています。

三町研修会

グループ討議で 議員の役割を研修



① 議員間の話し合いで多くの意見を出し合いました
② グループ内でまとまった意見を発表する山崎議員

11月7日、一戸町・岩手町・葛巻町議会議員協議会研修会が本町のグリーンテージで開催され、三町の議員ら約50人が参加し、地域の振興発展や課題解決に向けた研修を行いました。今回の研修会では新たな取り組みとして、「人口減少時代における議員の役割」をテーマに、5名程度の班に分かれてグループディスカッション（※）を行いました。普段は議論や討論が中心の議会ですが、30分間の短い時間の中で多くの意見やアイデアを出し合いました。議員間討議で出た意見をグループでまとめて代表者が発表し、今後の議

会活動に生かすために情報共有しました。主な意見は次のとおりです。

地域の振興発展に必要な議員の役割

- ・三町が取り組んでいる優良事例を共有し、人口減少対策に反映して行くことが必要
- ・型にはまらない発想が議員に求められる
- ・子どもを産み育てやすい環境づくりを目指した政策提案が必要
- ・若者収入の底上げを図るために、国などの関係機関に働きかける

地域特性を生かし三町の連携強化へ

グループ発表終了後、三町の議会議長が感想を述べました。本町の中崎議長は、「今までの取り組みを、さらに良い方向

に変えていくことが必要。地域の良い個性を生かすために議会と行政が連携した取り組みを、三町で形にする時期」と話しました。

今後も地域の振興発展に向けて、三町の連携強化につながる研修に取り組んでいきます。

（※）グループディスカッション
決められたテーマを少人数グループで行う話し合い

魅力ある地域農業所得の向上に期待

グループディスカッション終了後、国の地方創生人材支援制度で内閣府から本町に派遣されている、参事兼農林環境エネルギー課長の中村輝実さんが、「一戸町・岩手町・葛巻町における農業展望」と題して講演を行いました。



地域農業の活性化策をアドバイスする中村参事

講演では、三町の農業の実情に応じた効果的な地方創生（人口減少対策）などの説明がありました。中村参事は、「競争力のある農産品を作れば、工夫とアイデアによって、農業は地域産業として新たな雇用を生み、所得の向上につながる」と話しました。この取り組みを成功させるためには、議会も関わりを持つことが重要なため、三町議会の連携の充実がさらに必要と感じました。

多くの意見を聴け

町村議会議員シンポジウム

町村議会議員シンポジウムは10月21日に岩手県自治会館で開催され、鈴木満、姉帯春治、山崎邦廣の3議員が参加しました。

シンポジウムは、議会が議会総合条例を制定するに当たり指導いただいた、新潟県立大学の田口一博准教授による「議員定数・議員報酬のあり方について」基調講演が行われた後、「魅力あふれる議会と議員のなり手を考える」として地区代表議員の意見発表がありました。

引き続き行われたパネルディスカッションで「議員のなり手不足解消には報酬の増加が必要。ただし、専門家や多くの町民の声を聴いて判断すべきで、議会の目的は町民の幸せであり、町民が望むことを実現するための手段として質問がある」など活発な意見交換が行われました。



広域連携を学ぶ

盛岡市市政調査会研修会



盛岡市市政調査会（盛岡市議会）の定期研修会に9名参加しました。

この研修会は、盛岡市議会市政調査会が11月18日、盛岡市内のホテルで開催。国の機関などから講師を招き広域7市町にも参加を呼びかけて実施されました。

研修では、総務省の小川康則市町村課長による「新たな広域連携について」、内閣官房まちひとしごと創生本部事務局の松本正倫主査による「地域経済分析システム（RESAS）の活用について」の講演が行われました。

小川課長は、「単独市町で実現困難な事業などは広域実施により実現できる」、また、松本主査は、「広域経済に関わる各種ビックデータを国が収集したRESASを活用し、これまでの思い込みから脱却し、新たな人口減少対策などへの施策へ活用が期待される」と力説。広域連携とデータに基づいた政策の重要性を学んだ研修会でした。

消防出初式に参加した皆さんの声を届けます

くずまきの笑顔

誇りを持って消防団活動に



木下 慎吾さん (五日市)
[第12分団 28年4月入団]

入団当初は何も分からない状態でしたが、頼れる先輩団員の熱い指導のもと、多くの事を学んでいます。
消防団は、火災のみならず、水害や台風時にも出動し全ての防災を担っていることを痛感し、身を引き締めていこうと思います。消防団員の自覚と誇りを持ち、地域の皆さんが安心して日々を過ごせるよう、消防活動に励んでいきたいです。

地域のつながり心強く



近藤 章子さん (田子)
[28年度 第3分隊長]

婦人消防協力隊に初めて参加しました。
地域の安心、安全につながる消防団や協力隊の防災活動が、地域の方々による協力と、団員や隊員はもとより、その家族に支えられていることを実感しました。
また、多くの皆さんと一緒に活動を行うことで、地域のつながりが大変心強く感じました。

消防団活動で町に貢献



竹川 寛さん (岩上)
[第17分団 27年12月入団]

消防団に入りまだまだ不馴れなことが多いですが、先輩団員の方々からたくさんのことを教わりながら消防団活動のことを勉強しています。
今年は消防団活動を積極的にに行い、町に貢献していきたいです。仕事もたくさん覚えて、家族と共に充実した日々を送りたいです。



親子で仲良く陶芸体験

表紙「なないろ☆きらきら」の皆さん

子育て親育てサークルの「なないろ☆きらきら」の皆さんは、移住者や転勤族のママさんたち中心のメンバーです。
年々交流の輪が大きく広がり、ものづくり教室などを定期的に開催しています。大人と子供が交流を通じ、一緒になって楽しみを分かち合いながら活動を行っています。

情報公開

議長が議会の対外的活動をするための経費が議長交際費です。各団体の総会、式典の会費が主なものです。

10月	51,240円	(沖縄県北中城村村政施行70周年記念式典ほか)
11月	17,000円	(町勢功労者表彰式ほか)
12月	25,000円	(消防団防火懇談会ほか)

次の定例会議は**3月3日(金)**です。

編集後記

災害時における議会対応指針を作成しましたが、東日本大震災や昨年8月30日に岩手県に上陸した台風10号などの災害を経験し、あらためて災害時における対応の重要性を感じました。
新年を迎え、それぞれ新たな決意を持たれて一歩を踏み出したところと思います。
寒さが続くようです。皆様のご健勝をお祈りします。

広報常任委員会
委員 畑 福 弘

